

國文學論叢

第 42 号


$$\left(\begin{array}{c} \text{---} \\ \text{---} \\ \text{---} \end{array} \right)$$

(一九)

久生十蘭論
VII

金沢大学附属図書館蔵『苔の衣』翻刻(四)：関本 真乃 (三九)

— 京都市歴史資料館蔵『苔の衣』本文対照 —

京都大学文学部蔵中院文書文学関係資料翻刻（中）……………（五三）

大谷 俊太・大山 和哉

『鳳城聯句集』訓注稿(七)……………楊 昆鵬 (二〇五)

平成三十年度 修士論文要旨 …………… (一二九)



京都大学大学院文学研究科国語学国文学研究室
令和元年（2019）9月

前々号(第40号) 目次

江戸川乱歩「白昼夢」における

傍観者としての大衆

——有田音松征伐と

チリップチャラップ節を視座として——

宮本 和歌子

『山月記』が山月「記」とされた

必然性に関する一考察

林 純次・岸 和弘・赤田 愛結

今井 和・宇高 颯志朗・川崎 瀬夏

篠原 遼太・田井中 一輝

高田 まり菜・村地 紳・山岡 俊介

金沢大学附属図書館蔵『苔の衣』翻刻(二)

——京都市歴史資料館蔵

『苔の衣』本文対照——

関本 真乃

『鳳城聯句集』訓注稿(五) 楊 昆鵬

前号(41号) 目次

三条西実隆『再昌草』と漢籍 中村 健史

『青陽石片礎』二、三編の校閲について

大関 綾

温泉保養地文学としての漱石『明暗』

——ツルゲーネフとヘンリー・ジェイムズの系譜に重ねて——

小鹿原 敏夫

久生十蘭「鶴鍋」(「西林図」) 論

開 信介

金沢大学附属図書館蔵『苔の衣』翻刻(三)

——京都市歴史資料館蔵

『苔の衣』本文対照——

関本 真乃

京都大学文学部蔵中院文書

文学関係資料翻刻(上)

大谷 俊太・大山 和哉

『鳳城聯句集』訓注稿(六) 楊 昆鵬

投稿規定

- 一、本誌は、投稿資格を設けることなく、国語学・国文学に関する論文を広く募集します。
- 一、投稿論文は四百字詰原稿用紙にして四十枚（本誌の頁数で十二頁）以内とし、これを超過した場合、実費をご負担いただきます。
- 一、原稿の採否は査読委員会が決定いたします。採否の問合せにはお答えしないことを原則といたします。
- 一、掲載された論文は原則として京都大学学術情報リポジトリにその全文を公開します。
- 一、原稿の締切は毎年二度、七月・一月の末日とします。
- 一、ワープロを使用した場合は、ソフト名（機種）・四百字詰原稿用紙に換算した原稿枚数を明示の上、電子媒体と印字した原稿を同封してお送りください。電子媒体と印字した原稿は返却いたしません。
- 一、四百字詰原稿用紙二枚程度の要約文を添付してください。
- 一、校正は原則として再校までとします。
- 一、論文掲載の場合は本誌三部を贈呈いたします。それ以上の本誌・抜刷については実費を申し受けます。
- 一、宛先は以下の通りとします。
〒六〇六―八五〇―一 京都市左京区吉田本町
京都大学大学院文学研究科国語学国文学研究室内「國文學論叢」編集部

令和元年九月三〇日 印刷
令和元年九月三〇日 発行
京都大学國文學論叢 第四二号

編集発行者

京都大学大学院文学研究科
国語学国文学研究室内
「國文學論叢」編集部
〒六〇六―八五〇―一
京都市左京区吉田本町
電話 〇七五―七五三―二八二四

印刷者

京都市南区吉祥院池ノ内町10
明文舎印刷株式会社

表紙題字『易林本節用集』より
（京都大学文学部蔵慶長板）